

## 【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

### 移動を強いられている人々―連帯とパートナーシップの発展へ向けて―

国際協力機構（JICA）は、8月29日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、アフリカ連合委員会（AUC）、国連アフリカ担当事務総長特別顧問室（UNOSAA）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と共に、難民や国内避難民などの「移動を強いられている人々」をテーマにしたハイレベル・サイドイベントを開催しました。イベントには100名を超える参加がありました。

北岡 JICA 理事長、グランディ国連難民高等弁務官、ガワナス国連アフリカ担当事務総長特別顧問による共催者講演が行われた後、政府、民間、難民の代表も加わったパネルディスカッションでは、連帯やパートナーシップの枠組みをいかに広げていくかが議論されました。アフリカには世界の3割以上の難民および国内避難民が生活しており、持続的な発展のためには、国際社会全体で喫緊に対処する必要があることが改めて確認されました。

北岡 JICA 理事長は講演において、人間の安全保障の視点から「尊厳を持って生きる権利」を実現するために、難民、国内避難民に対する支援が重要であり、また信頼の醸成と和解の文化が必要である点を強調しました。

パネルディスカッションでは、ウガンダ政府のエチュウエル副大臣が難民受入国の視点からの好事例を紹介。ケニアのエクイティバンクのワイティトゥ氏は、金融を通じた経済機会の拡大が重要と強調しました。在ウガンダ南スーダン難民のドゥクー氏も登壇し、難民の視点から教育と自立支援の重要性、受け入れ政府の包摂的な政策の必要性について述べました。

最後にミナタ AUC 政治局長より、難民・国内避難民の持続的解決へ向けて、国際社会全体で支援する必要があること、民間を含む多様な関係者とともに支援を拡大していくことの重要性が改めて示されました。

このイベントの結果は以下のとおり、取りまとめられています。

[https://www.unhcr.org/jp/wp-content/uploads/sites/34/2019/08/TICAD7-Side-Event-Outcome-Document\\_190829.pdf](https://www.unhcr.org/jp/wp-content/uploads/sites/34/2019/08/TICAD7-Side-Event-Outcome-Document_190829.pdf)

## ■本イベントの登壇者

### 【共催者講演】

- 北岡伸一 JICA 理事長
- フィリッポ・グランディ 国連難民高等弁務官(UNHCR)
- ビンス・ガワナス 国連アフリカ担当事務総長特別顧問(UNOSAA)

### 【パネルディスカッション】

(パネリスト)

- ミナタ・サマテ・セスマ アフリカ連合委員会(AUC)政治局長
  - ムサ・エチュウェル ウガンダ首相府災害対策・難民担当副大臣
  - アラン・マイナ・ワイティトゥ エクイティバンク・ケニア 特別プロジェクトディレクター
  - スーザン・グレイス・ドゥクー 在ウガンダ 南スーダン難民
  - ビンス・ガワナス 国連アフリカ担当事務総長特別顧問(UNOSAA)
  - フィリッポ・グランディ 国連難民高等弁務官(UNHCR)
  - 花谷厚 JICA 平和構築シニア・アドバイザー
- (モデレーター)
- 二村伸 NHK 解説委員

### 【クロージング スピーチ】

- ミナタ・サマテ・セスマ アフリカ連合委員会(AUC)政治局長

### 【司会進行】

- 石川幸子 JICA 国際協力専門員

## ■関連リンク

JICA 北岡理事長による共催者挨拶（英語サイト）

[https://www.jica.go.jp/english/about/president/speech/190829\\_01.html](https://www.jica.go.jp/english/about/president/speech/190829_01.html)

## ■写真



JICA 北岡理事長登壇（共催者講演）



パネルディスカッション：（右から）JICA 花谷平和構築シニア・アドバイザー、グランディ国連難民高等弁務官、ガワナス国連アフリカ担当事務総長特別顧問



イベントの様子

## ■関連する SDGs ゴール：

